

ccNSO関連報告

第39回 ICANN報告会

2014年5月29日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

高松 百合 takamatsu@jprs.co.jp

ccNSO/ccTLDに関連する主な会合

3月24日(月)	<ul style="list-style-type: none">▪ Joint ccNSO / GNSO Council Meeting▪ Tech day
3月25日(火)	<ul style="list-style-type: none">▪ ccNSO Members Meeting Day 1
3月26日(水)	<ul style="list-style-type: none">▪ ccNSO Members Meeting Day 2▪ ccNSO Council Meeting

ccNSO members meeting agenda

- Day 1 3月25日

09:00-09:10	Introduction
09:10-09:20	Framework of Interpretation Update (TBC)
09:20-09:50	Internet Governance Session 1: NTIA Update
10:00-10:45	Meeting with the ICANN Board
11:00-11:30	Internet Governance Session 2: Internet Governance Developments in Asia
11:30-13:00	Internet Governance Session 3: Perspectives on the Globalisation of IANA
14:00-15:00	Joint Meeting with the GAC
15:00-15:45	ICANN Meeting Strategy Update
16:00-16:30	Name collision: are ccTLDs and new gTLDs treated differently?
16:30-16:40	NomCom Update
16:40-17:00	IANA Update

ccNSO members meeting agenda

- Day 2 3月26日

09:00-10:45	Security Session
11:00-12:30	ccTLD News Session
12:30-13:00	Regional Organisations Update:
14:00-15:30	Internet Governance Session 4: Community discussion - Defining Principles /Requirements for the IANA Function Transition Process from a ccTLD Perspective
16:00-17:00	ccNSO Council meeting

IANA機能の監督機能移管に関する議論

- IANA機能の監督機能移管に関する情報共有、
質疑応答の時間が多く設定
 - 主な議論対象
 - 米国政府が委任・再委任等の手続き時に果たしている役割の定義、及び役割の移管先に関する内容
 - ICANNがコミュニティに対し、5月8日まで意見募集を実施
- ccNSO 評議会として中間コメント(ccNSO Interim report)を提出(5月4日)
 - ccNSO members meetingでの意見を踏まえ、ccNSOで議論対象となった点をコメントとして提出

IANA機能の監督機能移管に関する議論

(参考) ccNSO評議会の提出コメント概要

- NTIAはルートゾーン書き換えの最終承認しかしていないことを前提にドラフトが書かれているが、実際にはそうでない
- IANAのルートゾーン管理機能の要求条件を確定するプロセスと手続きを確立し、またIANA機能オペレータにその要求条件遵守状況に関してアカウントブルにさせるためのプロセスと手続きを確立する必要がある
- ドラフトでは、ポリシー検討組織であるGNSO、ccNSOからは運営グループ(steering group)に委員を出せることになっているが、それに加え、IANAサービスを直接受ける顧客であるステークホルダとして「レジストリオペレータ」を追加定義し、運営グループに委員を出せるようにすべき
- 運営グループに入る各Supporting Organization、Advisory Committeeの代表は、ICANN理事長とGAC議長がトップダウンで選定するというドラフトになっているが、ボトムアップで選定すべき
- ICANN自体のアカウントビリティの実現は、IANA機能移管とは分けて検討するというドラフトであるが、前者はIANA機能のポリシーを作っているため、両者は不可分であり、両者を関連させて検討推進すべき

(参照) ccNSO Council Interim Comments on the IANA Transition<<http://www.icann.org/en/about/agreements/iana/transition>>

その他ccNSOでの話題(1/2)

- インシデント発生時の取り組み
 - Contact Repository Implementation WGにて、対応を検討中
 - 活動内容
 - インシデント発生時に、ccTLD間で情報を共有するための方法を検討中
 - まずは専用のメーリングリストの作成を検討中
 - メーリングリスト運用開始後、状況に応じて共有する情報や方法の拡大等について検討予定
 - JPRSよりWGにメンバーとして参加(齊藤仁)

その他ccNSOでの話題(2/2)

- ドメイン名の悪用に対する各国での取り組み
 - なりすまし登録抑止への対策(.SG)
 - 個人がドメイン名登録時に、政府が発行する” SingPass (Singapore Personal Access)”の所有を義務付け
 - 2013年5月2日より試験的に導入。同年11月から恒常的に実施
 - 2013年5月～10月に検知されたなりすまし登録は無し
 - 悪用されているドメイン名の廃止(.RU)
 - 国内のCERT、セキュリティ関係の企業(カスペルスキー等)、警察等との連携を通じ、悪用されているドメイン名を廃止
 - 29,962件のドメイン名を廃止
(2012年11月～2014年3月14日時点)